



こくろうよなご

第24号

2024年8月10日

発行責任者 倉下文明

編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

折り鶴に込めた平和への願い



8月4日、広島にて「第52回国鉄戦没者慰霊式典」が開催され、米子地方本部からは倉下委員長が参列されました。また、式典の前には、平和記念公園内の「原爆の子の像」に備え付けられているブースに組合員の皆さんに作成頂いた平和のシンボルでもある「折る鶴」を捧げ、核廃絶と世界各地で頻発する戦争や武力衝突が終結し、平和な世界が訪れるよう今出来ることを精一杯取り組むことを誓いました。

利用者・沿線住民の声を議会に

国労議員団会議を開催

去る7月16日、島根県事務所にて「国労議員団会議」を開催してきました。植田江津市議・小川浜田市議に参加頂き、ローカル線を取り巻く現状などについて意見交換を行いました。まずは、コンパクト化が進む駅舎の現状について議論となりまして、駅舎の建て替えによりトイレが無くなる、待合室が小さくなった、撤去されたりで、通学の学生が雨風をしのげない実態について、市議会の中でもしっかりと取り上げて頂いているというところで、また、6年前に廃線

考えた価格転嫁・ローカル線問題

これ以上の先送りには

7月25日から26日にかけて、新橋交通ビルにて開催された「第93回定期全国大会」の感想を報告します。今年の全国大会は、国労の存亡をかけた取り組みである「5年ビジョン」の総括という非常に重要な任務を課せられた大会だったと思います。この5年間で組合員数は大きく減少し、若手代議員からも「組織のコンパクト化を求めろ」「目の前に迫った国鉄組が居なくなつた後の組織の在り方の議論を急ぐべき」等の意見には、JR採用組合員の持つ危機感を非常に感じたところでした。

何故、運賃だけが！

また、23春闘に関して、来賓でご挨拶頂いた交運労協の方から、「電気でもガスでも公共料金も値上げしているのに、なぜ運賃だけ上げられないのか。人材確保のためにも、運賃上げは必要だ」というお話がありました。西日本会社の春闘でも「売り上げは9割戻つたが、燃料代などの高騰で利益は7割しか戻らない」との主張がありました。この主張について、私自身は、組合が公共料金の値上げを言うことに抵抗感もあつた訳ですが、安全・サービスの向上の為に、関連会社の委託費の確保なども含めて運賃値上げの議論も必要なのではないかと感じました。当然の事、値上げ分が、会社の利益に回ることが無いよう組合としてのチェック機能を働かせながらとなります。

スローガンではなく

もう一点、ローカル線問題について、「必ずしも鉄道でなく、地

域に合った公共交通を」「鉄道とバスは縦の関係ではなく横の関係」等、言われていたと思います。この話を聞いて、以前、三江線沿線の住民アンケートに回つた時、「三江線はないよりはあつた方がいい」と多くの住民の方に言われて、「三江線反対」が地域の人の受け入れられていたのかと疑問に感じたことを思い出しました。

「ローカル線廃止反対」とスローガンを唱えるだけでなく、地域の方がどう考えているのか、それを大事にしなければならぬと改めて感じました。

引きつづき、JR会社、自治体、地域住民の皆さんと対話をしていきたいと思えます。(倉下 文明)

となつた「三江線」跡地では、草が伸び放題、サルを見たなどの通報も多く寄せられているとの事ですが、三江線跡地に限らず、山陰本線でも沿線住民から除草の要望がひっきりなしにあるようです。

一方、実際に草刈りを担当する組合員からは、「とても追いつかない」との声も出されています。この6月から、駅運転・機動業務について



の見直しも行われていますが、「駅側と運転統括チーム側での業務の棲み分けがうまくいっていないのではないかと感じる場面もある」との事です。

第77回定期地方大会のお知らせ

日時 8月24日(土) 11時30分~
場所 米子市文化ホール